

また入院期間が長くなるようなバリエーション症例でも、クリティカルパスの適用を中止せずに、入院期間を延長することができるように、任意の位置に任意の日数を挿入する機能が付与されている（図 3）。計画内容についてもコピー&ペーストを行うことにより、挿入した日付にコピー元の日付と同じ内容の計画を予定することが可能である（図 4）。

クリティカルパスの内容と異なる診療行為には青い V マークが表示される。青い V マークの表示されたセルを右クリックすることによりその内容の詳細を参照できる（図 5）。こうして計画内容と異なった診療行為の内容を迅速に確認することが可能のように工夫されている。

バリエーションと認定した場合には、バリエーション登録を行う。この場合赤い V マークが表示される。バリエーション登録の場合には、その原因を医療スタッフ、患者・家族、病院システム、地域・社会に分類して、コード化し登録することにより、将来のバリエーション分析が容易に行えるように工夫されている（図 6）。

D. 効率の良い電子カルテ版クリティカルパス作成の工夫

- 1) 文字色の変化によるステータス（計画中、オーダー済み、実施済み、中止など）管理を行い、パスチャートを一目みただけで治療の進行状況を把握できるようにした。
- 2) パスチャートから観察記録の内容や検査結果を参照できるようにして、患者の容態を容易に把握できるようにした。
- 3) 業務効率化のためにオーダーの一括発行（自動オーダーリングシステム）とした。
- 4) 責任の明確化および二重チェックのため、セット化されたオーダーごとにオーダー発行の確認を必要とするシステムを採用した。
- 5) 患者の病態に応じて、パス内容を変更できる機能を付加した（日数を増やし、診療内容をコピーすることが可能）。
- 6) バリエーションの集計や統計が可能のようにバリエーションコードを設定した。

E. 電子カルテ版クリティカルパスの効果

とペーパーベースクリティカルパスとの相違点

パスの目的の一つであるチーム医療は電子カルテによる情報の迅速な伝達と共有化により、さらに充実できることになった。ペーパーベースクリティカルパスでは、標準的計画のもとで、実際の注射内容、検査内容は担当医師の裁量に任されている部分があったが、電子カルテ版では、細部に至るまで完全に統一され、標準化されることになった。抗生剤の種類や投与日数をみた場合、電子カルテ版クリティカルパスの導入により、抗生剤の使用法が完全に統一されることになった（図 7, 8）。

F. おわりに

電子カルテは、情報の共有化、迅速な情報伝達、医療内容の開示などを通して、患者へのサービス向上を図り、患者中心の医療体制確立に必要不可欠のものである。一方、クリティカルパスも質の高い効率的なチーム医療を推進し、インフォームドコンセントの充実、セーフティマネジメントの徹底、在院期間の短縮や医療費の適正化などの効果が得られる。電子カルテ版クリティカルパスは 21 世紀の医療改革の重要なツールとして、今後さらに発展させていく必要がある。

G. 健康危険情報

特記すべきことなし

H. 研究発表

1. 論文発表

三浦泰朗、小西敏郎. クリニカルパスの意義. 消化器外科 NURSING. 10(1): 10-14, 2002.

外村修一、小西敏郎、奈良智之. 食道癌とクリニカルパス. 消化器外科 NURSING. 1(1): 15-26, 2002.

小西敏郎. キーワード解説 消化器外科のクリニカルパス. 消化器外科 NURSING. 10(1): 71-72, 2002.

伊藤契、小西敏郎. 患者が選択するソケイヘルニア手術治療. オペナーシング. 17(2): 181-188, 2002.

針原康、小西敏郎. 外科医のためのクリニカルパス実践講座 第13回「虫垂切除術のクリニカルパス」. 外科. 64(1): 90-96, 2002.

針原康、野家環、小西敏郎. 外科医のためのクリニカルパス実践講座 第14回「膵頭十二指腸切除術のクリニカルパス」. 外科. 64(2): 210-217, 2002.

奈良智之、小西敏郎. 食道癌手術のクリティカルパス. 癌と化学療法. 29(1): 45-53, 2002

奈良智之、小西敏郎. 外科医のためのクリニカルパス実践講座 第15回「食道癌手術のクリニカルパス<改訂版>」. 外科. 64(3): 331-335, 2002.

小西敏郎. 医療現場からの医療改革の提案—クリティカルパス. 参風. 98:8-23, 2002.

小西敏郎、針原康. クリティカルパスと電子カルテ. 折井孝男編集「病院・薬剤業務と電子カルテ」: 16-24, 2002.

小西敏郎. リスク管理におけるクリニカルパスの有用性. 順天堂医学. 47(4): 465-471, 2002.

小西敏郎. クリティカルパスによる21世紀の医療改革. 函館五稜郭病院医誌. 10: 2-3, 2002

三浦泰朗、伊藤契、針原康、小西敏郎. 外科医のためのクリニカルパス実践講座 第16回「腹腔鏡下胆嚢摘出術の電子カルテ版クリニカルパス」. 外科. 64(4): 439-444, 2002.

野家環、針原康、小西敏郎. 外科医のためのクリニカルパス実践講座 第17回「胃癌クリニカルパスの電子カルテ化」. 外科. 64(5): 567-574, 2002.

小西敏郎. 外科医のためのクリニカルパス実践講座 第18回「クリニカルパスによる医療の構造改革・医師の意識革命」. 外科. 64(6): 697-701, 2002.

針原康、小西敏郎. リスクマネジメント—クリニカルパスの活用. カレントセラピー. 20(6): 623-626, 2002.

針原康. クリニカルパス. カレントセラピー. 20(6): 648-649, 2002.

野家環、小西敏郎. 消化器外科におけるクリティカルパス. 消化器外科. 25: 1317-1324, 2002.7.

野家環、小西敏郎. 胃癌の外科的治療「外科的治療のクリティカルパス」. コンセンサス癌治療. 2002 Spring 1(1) 2000.5.

針原康、小西敏郎. クリニカルパスとIT革命. カレントセラピー. 20(8): 794-797, 2002.

小西敏郎. 特集: 医療のセーフティマネジメント「クリニカルパスによるリスク管理」. MEDICO. 33(9): 10-14, 2002.9.

小西敏郎. (特集「電子カルテの功罪」) 電子カルテ時代の幕開け—最先端のIT病院より. 東京内科医会誌. 18(1): 56-59, 2002.8.

堀夏樹、小西敏郎. 在宅ホスピスケアへの電子カルテの有用性. 坪井栄孝: 監修、田城孝雄: 編著『がんの在宅医療』中外医学社(東京): 102-113, 2002.12.10.

奈良智之、小西敏郎. 食道癌治療の術後QOL—腹腔内器械吻合とクリティカルパス—. 外科治療. 87(4): 329-333, 2002.10.

小西敏郎. 電子カルテのメリット・デメリット. 小西敏郎・石原照夫監修「電子カルテとクリティカルパスで医療が変わる」インターメディカ社(東京): 75-81, 2002.12.

針原 康. 外科診療における電子カルテの実際. 小西敏郎・石原照夫監修「電子カルテとクリティカルパスで医療が変わる」インターメディカ社(東京): 91-98, 2002.12.

針原 康. クリティカルパスのメリット、デメリット. 小西敏郎・石原照夫監修「電子クリティカルパスで医療が変わる」インターメディカ社（東京）：148-152, 2002.12.

2. 学会発表

針原康, 小西敏郎
電子カルテ上でのクリニカルパスの有用性について
第102回日本外科学会定期学術集会
2002年4月11日 京都

奈良智之, 小西敏郎
食道癌手術におけるクリティカルパスの導入と改良
第102回日本外科学会定期学術集会
2002年4月12日 京都

奈良智之, 小西敏郎, 古嶋薫, 針原康, 伊藤契, 野家環
食道癌手術のクリニカルパス
第56回日本食道疾患研究会 2002年6月27日 広島

三浦泰朗, 野村亮介, 伊藤契, 針原康, 小西敏郎
腹腔鏡下胆嚢摘出術の電子カルテ版クリニカルパス
第4回医療マネジメント学会学術集会
2002年6月29日 京都

針原康, 秋山剛, 古嶋薫, 伊藤契, 野家環, 奈良智之, 小西敏郎
電子カルテ導入後のインシデントの検討
第4回医療マネジメント学会学術集会
2002年6月29日 京都

奈良智之, 小西敏郎, 古嶋薫, 針原康, 伊藤契, 野家環
食道癌手術のクリニカルパス
第57回日本消化器外科学会総会 2002年7月28-30日 京都

針原康, 小西敏郎, 古嶋薫, 伊藤契, 野家環, 奈良智之
電子カルテシステム下での事前レジメン登録による抗癌剤注射オーダー

第57回日本消化器外科学会総会 2002年7月28-30日 京都

伊藤契, 小西敏郎, 古嶋薫, 針原康, 野家環
腹腔鏡下胆嚢摘出時の総胆管損傷症例の検討ー再建法と長期予後ー
第57回日本消化器外科学会総会 2002年7月28-30日 京都

野原孝哉, 野家環, 針原康, 三邊大介, 奈良智之, 伊藤契, 古嶋薫, 小西敏郎
腭 inflammatory pseudotumor の一例
第57回日本消化器外科学会総会 2002年7月28-30日 京都

伊藤契, 小西敏郎
急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術, そのタイミングと手術のポイント
第15回日本内視鏡外科学会総会 2002年9月19日 東京

坂田貴子, 小西敏郎
プレナリーセッション「コメディカル2ー看護師・薬剤師」
第40回日本癌治療学会総会 2002年10月16日 東京

野家環
ポスター 「胃癌におけるTS-1のクリニカルパスの開発」
第40回日本癌治療学会総会
2002.10.16-18 東京

古嶋薫
シンポジウム「消化器外科疾患クリニカルパスの Bench Mark」
第3回日本クリニカルパス学会 2002年11月22日 横浜

針原康, 古嶋薫, 古嶋薫, 伊藤契, 野家環, 奈良智之, 小西敏郎
パネル「院内感染対策からみたCPの検討」
第3回日本クリニカルパス学会 2002年11月22日 横浜

小西敏郎
特別講演「電子カルテとクリニカルパスによるセーフティマネージメント」

第 64 回日本臨床外科学会総会
2002,11,14 東京

伊藤契、小西敏郎、古嶋薫、針原康、野家
環

成人鼠径ヘルニアPHS法の解剖学的要
点

第 64 回日本臨床外科学会総会
2002,11,14 東京

奈良智之、小西敏郎、古嶋薫、針原康、伊
藤契、野家環

食道手術のクリニカルパス

第 64 回日本臨床外科学会総会 2002,11,
14 東京

野家環、小西敏郎、古嶋薫、針原康、伊藤
契、奈良智之

電子カルテによる胃癌幽門側胃切除術ク
リニカルパス

第 64 回日本臨床外科学会総会
2002,11,14 東京

針原康、小西敏郎、古嶋薫、伊藤契、野家
環、奈良智之

電子カルテとクリニカルパスによるセー
フティマネージメント

第 64 回日本臨床外科学会総会
2002,11,14 東京

I. 知的財産権の出願・登録状況（予定含）

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

図3 電子化クリティカルパス日付追加画面

0454995 1931年05月08日生 71歳 6ヶ月
 血液型: O型 Rh+

計画開始日: 2003/03/03(月) 2003/03/04(火) 2003/03/05(水) 2003/03/06(木) 2003/03/07(金) 2003/03/08(土) 2003/03/09(日)

計画終了日: 2003/03/05日 2003/03/06日 2003/03/07日 2003/03/08日 2003/03/09日 2003/03/10日 2003/03/11日

計画内容の欄

の準備が整う

感染症状がなく食事が7割日食を摂取できる

計画内容	計画 日	計画 日	計画 日	計画 日	計画 日	計画 日	計画 日
TPP/PP	8時-10時-14時-18時	10時	10時		10時	10時	10時
...							

図4 電子化クリティカルパス計画内容のコピー画面

0454995 1931年05月09日生 71歳 7ヶ月 病棟: 708

血液型: O型 Rh+

計画開始日: 2003/03/03(月) 2003/03/04(火) 2003/03/05(水) 2003/03/06(木) 2003/03/07(金) 2003/03/08(土) 2003/03/09(日)

計画終了日: 2003/03/05日 2003/03/06日 2003/03/07日 2003/03/08日 2003/03/09日 2003/03/10日 2003/03/11日

計画内容の欄

の準備が整う

感染症状がなく食事が7割日食を摂取

計画内容	計画 日	計画 日	計画 日	計画 日	計画 日	計画 日	計画 日
TPP/PP	8時-10時-14時-18時	10時	10時		10時	10時	10時
...							

図7 幽門側胃切除術の抗生剤の種類

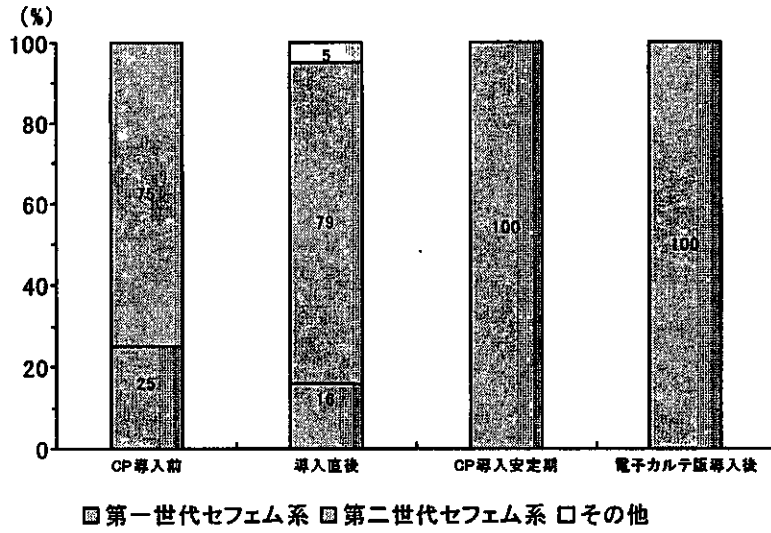


図8 幽門側胃切除術の抗生剤投与日数

